



岡山県立岡山東商業高等学校 同窓会会報

第7号 令和2年2月17日発行

発行
岡山県立岡山東商業高等学校同窓会
<http://www.dosokai.ne.jp/higashisho/>

デザイン・印刷 株式会社サルト

題字 東商12期 有瀬加子(芳心)

第26回東商デパート



11月23日土曜日、岡山市北区北長瀬の岡山ドームで、第26回東商デパートが開催されました。今年のテーマは「商華一心～刻め我らの一頁～」でした。お客様に喜んでいただけるよう、毎年少しずつ進化した東商デパートになるよう全校生徒は工夫を凝らして頑張っていました。

昨年はドーム周辺工事、駐車場減少など様々な問題点がありお客様には大変ご迷惑をおかけしました。駐車場に駐車するまで1時間以上お待ちいただいたお客様もいらっしゃいました。今年も駐車場問題は解消されていませんが、ドーム周辺が綺麗に整備され飲食スペースをドーム南側に広く取るなど、お客様にゆっくり楽しんでいただけるよう工夫しました。東商デパートサテライト店におけるPR活動により、来場者数約8,000人を超え活気あるデパートになりました。

毎年人気の生徒開発商品は「桃太郎とまと唐揚げソース」を取締役店舗で販売しました。岡山県産の桃太郎とまとを使った、トマト酢風味のソースです。とろみをつけているのでしっかりと唐揚げに絡み、トマト香るさっぱりとした味わいでおいしくいただくことができます。また生徒がデザインした東商オリジナルキャラクター「東魂侍とさくらちゃん」のシールを各店舗先着順で配布するなど東商のPRにもつとめました。

東商デパートは普段学校で勉強している商業の知識を、販売を通して体験的に学習できる、県内では本校唯一の大切な時間です。数多くの協力企業様やPTAの皆様、同窓会の皆様にご感謝の気持ちを忘れず、来年は今年以上にお客様にご満足いただけるよう取り組んでいきます。



ご挨拶



同窓会会長 石川 浩朗

同窓会会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

ネクスト10の第一歩、令和元年の一年間も倉商との定期戦に始まり翠光祭、東商デパートと、生徒の皆さんの生き生きとした活動の多くを見させていただきました。その中で、部活動等においてすばらしい活躍の成果が見られました。

令和元年10月、岡山陸連専務理事神達靖久氏（東16期）が、日本陸連功労章を受章されました。この章は、毎年全国で3名の方が受与されておられるとのこと、岡山県では、陸上競技の発展に特に貢献された、人見絹江氏、佐々木勝美氏に続いての受章となり岡山県では3人目の受章となりました。大変栄誉のある章をいただかれたことに對しましてお喜び申し上げます。この会報にもご挨拶を掲載させていただいておりますのでご覧ください。

さて、皆様のご協力により会報も第7号を発刊することができましたが、同窓会会報発刊費用に関しまして少し詳しくお知らせ致します。会報の発刊には印刷料、郵送料など合計しますと約250万円が必要となっております。昨年発刊の会報6号におきましては、発送部数は約1万8千通、会報6号から一世帯一通に変更させていただきましたので少し減少しております。宛先不明等により返送された部数437通と言うような状況です。皆様に

お願いさせていただいております協力金の納入額は130万8千円（含む入金手数料）になりました。同窓会は50万円を会報発刊負担金として支払いをしております。見られたとおり収支金額が合いません。不足分は業者負担となっております。この様に多額の費用がかかりますが皆様のご理解ご協力により発刊することができております。誠にありがとうございます。

また、令和2年は、東京オリンピックの開催年であり、そして同窓会総会は120回を迎えます。歴代の役員の方々が様々な出来事がある度に一つ一つ解決してこられた賜と思います。加えて皆様のご理解とご協力があればこそこれまで継続してこられたと考えます。この様に長期間にわたり継続することは大変な力が必要となります。そして、大切なことだと考えております。執行部会、常任幹事会に所属し同窓会の舵取りをしていただいた皆様には本当に頭の下がる思いでございます。ありがとうございます。

終わりになりましたが、同窓会会報第7号発刊にあたりましては、お忙しい中、神達靖久様を始め、在校生新聞部の皆様、同窓生の皆様にご寄稿いただく等、ご協力いただき大変ありがとうございました。また会報は毎年続けて発刊してまいります。限られた紙面ではございますが母校の現状ならびに生徒の皆様の活躍の様子、そして会員皆様の活躍の様子等をお知らせすることが出来ればと考えておりますのでご協力方よろしく願いいたします。



学校長 岡田 哲朗

同窓会の皆様方には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素から本校教育の充実発展のために、物心両面にわたり温かい御支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、本校は昨年度、記念すべき創立120周年を迎えましたが、今年度は令和という新時代を迎え、121年目の新たなスタートを切りました。年度当初、『「東魂！東商新時代へ」3C（Change・Challenge・Create）「～改革・挑戦・創造～」』をスローガンとして1歩を踏み出しました。また、本年度は新たに、本校の校歌の中にある「翠の光、ペンとさくら」などをキーワードとして、「東魂侍とさくらちゃん」というイメージキャラクターを作成し、あらゆるところで本校のイメージをアピールしているところです。

5月の倉商との定期戦や9月の翠光祭、そして10月の創立記念芸術鑑賞会、11月開催の東商デパートなども次第に地域に定着してきました。

歴史や伝統、学校規模からも、本校は全国トップレベルの商業高校になるべきミッションを背負い、地域に必

要とされ、地域を元気にし、地域を創造していく商業高校を目指して今後も鋭意努力をしていく次第です。

本校の特色でもある部活動においても、バレーボール部やボート部、卓球部、バスケットボール部や野球部、ソフトボール部など多くの運動部が活発に活動しています。文化部においても吹奏楽部や書道部、演劇部やダンス部、そしてコンピュータ部などの商業系の部活動も活発に活動してきました。また、地元企業と共同開発した商品などの地元商店街やイベント等での販売や地域貢献活動など、地域連携にも積極的に取り組みコンソーシアムを構築してきました。

このように、今年度も多くの生徒の活躍があります。本校はかつての「県商」として、また本県の商業教育の本部校として「東商新時代」をめざし、さらなるアクションが必要であると考えています。

どうか今後とも同窓会の皆様には深い御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに本校同窓会のますますの御発展と会員の皆様方の御健勝を心よりお祈り申し上げ御挨拶とさせていただきます。



さくらちゃん 東魂侍

本校の学科とコースについて

(1) 商業科 1年 8クラス (定員 320名)

平成11年度入学生より、くくり募集制度を導入しており、1年次は全員基礎的な商業科目を共通に履修します。したがって、1年次は全員商業科となります。2年次から、一般入学者選抜の合格者は、本人の能力・適性・興味・進路等により、下記の学科・コース(類型)を選択して学習します。(特別入学者選抜の合格者は、原則として2年次より当該学科に進級します。ただし、ビジネス創造科は、コースを自由に選択することができます。)

(2) ビジネス創造科 2・3年 6クラス (定員 各240名)

地域経済の発展に貢献するビジネスリーダーとして必要となる基本的な能力を育成します。また、スペシャリストを目指して、主体的、継続的に学ぶことのできる能力を育成する学科です。

① アドバンスコース

2・3年 1クラス(定員 各40名)
大学等への進学を目指します。

② 会計ビジネスコース

2・3年 1クラス(定員 各40名)
簿記会計の基礎を学び、企業の経営分析など会計に関わる発展的な内容を学習します。

③ 総合ビジネスコース

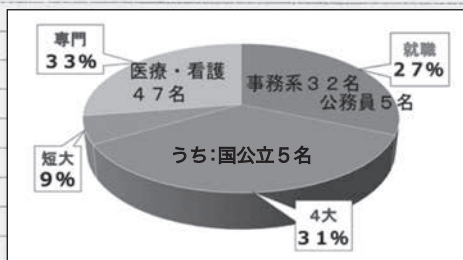
2・3年 4クラス(定員 各160名)
商品や流通などに関わる幅広いビジネスを学習します。

(3) 情報ビジネス科 2・3年 2クラス (定員 各80名)

ビジネスにおける情報活用に関する基本的な知識・技術を習得します。また、情報通信ネットワーク分野におけるスペシャリストを目指し、主体的、継続的に学ぶことのできる能力を育成する学科です。

平成30年度卒業生 進路状況

就職 27% 進学 73%



オープンスクール・ 学校説明会

オープンスクールは学校施設を公開し、本校や商業教育に関心のある中学生やその家族にパンフレットを読むだけではわからない生の情報を体験から得ることができ、学校選びの判断材料となるためのイベントとして行っています。本校入学後の進学や就職に関する情報、部活動体験など、教員、在校生と直接話をする機会も設けています。

「ようこそ!東商へ!」という気持ちを込めて、中学生の皆さんにわかりやすい資料を作成しています。今年は東商オリジナルキャラクター「東魂侍とさくらちゃん」をプリントしたクリアファイルを作成し、参加されたみなさんにプレゼントしました。



倉商定期戦

5月8日、岡山総合グラウンドにて、第66回岡山東商業高校対倉敷商業高校の伝統の定期戦が行われました。

今年の応援合戦は東商業が先攻でしたが、後攻の倉敷商業に負けにくいくらい勢いがあり一致団結していました。今年も天候は快晴ですべての競技を予定通り行うことができました。

ソフトボール部は東商業が序盤の1点を守り切って1対0で勝利を収めました。バレーボール部は今年も男女とも2対0の圧巻のプレーでストレート勝ちでした。勝利した

部も敗戦してしまっただけでもありません。どの部もプレッシャーの中「勝ちたい」という強い気持ちを持ちながら、最後まで諦めず一生懸命プレーをしている姿に、見る生徒たちの声援は一層大きくなりました。結果は、東商業23対22で今年もわずか1点差で東商業が優勝しました。昨年は創立120周年の節目の年で新たな時代が幕を開けました。この勝利によっていいスタートがきれたように感じ、また、新たな歴史の1ページが刻まれたと思います。



体育の部

翠光祭最終日である9月27日に体育の部が行われました。今年は雨と予報されていましたが、降ることもなく予定通り行うことができました。

また今年から、赤・青・紫・黄色のチームごとにオリジナル・デザインTシャツをつくったり、種目の応援時にはメガホンをを用いたりするなどし、例年に比べより一層各チームがひとつにまとまったように思います。



そんな体育祭で特に心に残ったのは、やはり「応援合戦」です。それぞれのチームがチームカラーに沿って衣装を作り、それを着て一生懸命パフォーマンスをする姿はと

ても輝かしく、感動的でした。どのチームもあまり練習時間のない中での本番でしたが、とても素晴らしいものでした。午後の部では、3年生によるフォークダンスが行われました。3年生は終始笑顔で、見ている側も楽しませてくれました。



競技の部は黄色チームの勝利でしたが、翠光祭総合では赤と黄色の2チーム優勝という珍しい結果に終わりました。どのチームも力が拮抗していたことの証明ではないでしょうか。

今年の翠光祭は、令和1年目にふさわしい記憶に残るものとなりました。来年も今年のように、いや、今年以上に盛り上げていきたいと思います。

文化の部

記念すべき第70回翠光祭文化の部が9月25日から9月26日の2日間で行われました。

総合開会式を終え、まずは吹奏楽部による演奏です。コンクール曲からJ-POPまで、幅広いジャンルと美しい音色で聴衆を楽しませてくれました。

次のステージでは、各チームの想いや個性を生かした見ごたえのある作品に心打られました。トップバッターの黄色チームは高校生ならではのトラブルやいざこざを描きつつ、最後はハッピーエンドで終え、会場を盛り上げてくれました。次の青チームは、AIを題材にした近未来的で最



後はゾッとさせられるようなストーリーでした。次の赤チームは、耳が聴こえない少女のお話でとても考えさせられる内容でした。最後の紫チーム



は最近問題になっているいじめやパワハラを題材に、生徒たちの心に響く作品を見せてくれました。

そのほかにも、ダンス部・書道部による圧巻のパフォーマンス、文化部の展示など各部・各チームが一つになって助け合いながら文化の部を成功させることができました。

模擬店では、カレーや担々麺・ハリケーンポテトなど、暑い季節に元気が出るような料理ばかりでした。特に模擬店で1位の赤チームの担々麺は調味料にもこだわり抜き、辛さの中にも旨みがある絶品の一品でした。

他にも委員会や有志バンドによる熱のこもった発表で大いに盛り上がることができました。

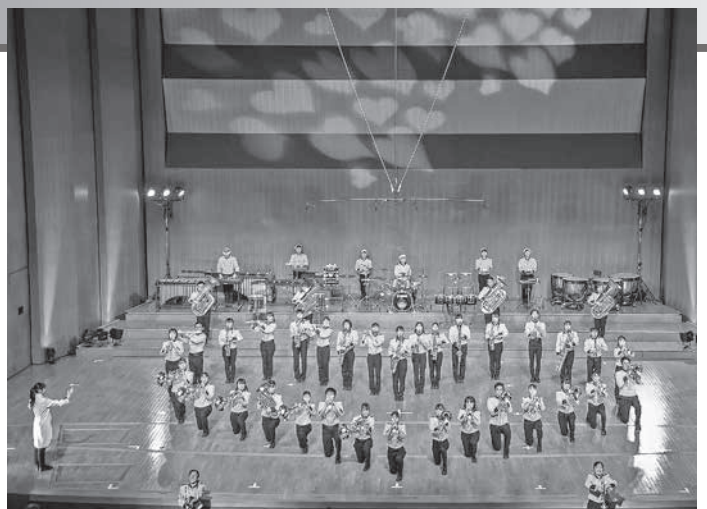
この素晴らしい翠光祭の文化の部が10年・20年と続いていって欲しいと思います。

第55回定期演奏会

私たち岡山東商業吹奏楽部は、12月23日に岡山シンフォニーホールで第55回定期演奏会を行いました。例年とは違い練習場所の確保や練習時間が限られる中、本番に向けて練習に取り組みました。自分たちで新たな練習場所を見つけ、工夫していきました。仲間と協力しながら練習に取り組み本番では部員全員が一つにまとまったと思いました。本番を通して、仲間と音楽を作り上げられる喜びや聞いてくださる方に笑顔になってもらえることの素晴らしさを実感することができました。これからも岡山東商業吹奏楽部をよろしくお願ひ致します。



吹奏楽部部長 安原将貴(東71期)



日本陸上競技連盟「功労章」を受章して

昭和40年3月卒業(東16期) 神達 靖久



11月4日には、越宗孝昌岡山陸協会長様を代表発起人として、東商の石川同窓会長様にも発起人の一人として加わって頂き、280名の盛大な素晴らしい祝賀会をして頂きました。岡山県知事の伊原様、日本陸連会長の横川様、岡山市長の大森様、総社市長の片岡様、東商同窓会からは岡田校長先生を始め38名の皆様に出席していただきました。温かいお祝いのお言葉をいただき感激でうれしさが一杯でした。

岡山東商への進学は野球がしたい友人に誘われて受験し、友人は残念ながら選抜で岡山南へ進学。入学以後は棒高跳に熱中し学業は疎かになりがちであり成績は低迷。卒業式で中学・高校と6か年皆勤賞をいただき、最後のHRで担任の先生から「休まずに来たから成績もええなあ」と言われた言葉を鮮明に覚えています。健康に育ててくれた今は亡き両親に感謝しています。

私の人生は岡山東商に入学し決定されたと言っても過言ではありません。当時棒高跳のポールは竹、スチールからグラスファイバー製に移行する過渡期で、外国製は高価で手の出る代物ではありませんでした。当時の岡山陸協の理事長さんの知り合いが、グラスファイバーを扱っている町工場を経営しており、ポールを試作してくれま

した。そのポールを修学旅行の積立金を全額はたき購入できたことが功を奏したのか、新潟国体に出場でき7位(当時は6位までが入賞)になり、また、インター・ハイにも出場し、東京オリンピックの聖火を県庁から持って走ることも出来ました。その後日体大に進学し、卒業した昭和44年9月から翌年の3月まで7か月間母校の東商で体育の非常勤講師をさせて頂いた良い思い出があり、貴重な体験でした。修学旅行を免除してくれた担任の先生は恩人の一人です。

尚、原稿が出来上がった後、2020東京オリンピック聖火リレーの2度目の聖火ランナー決定通知を受けました。最後に母校の益々の発展と同窓会の皆様のご活躍を祈念し、お礼の言葉とします。

2019年(平成31年)10月6日 日曜日
山陽新聞

**神達氏(岡山陸協)に
功労章**

日本陸連18年度栄章授与式

日本陸上競技連盟の2018年度栄章授与式が5日、茨城国体主会場の笠松運動公園陸上競技場であり、岡山陸上競技協会の神達靖久専務理事が功労章を受章した。

功労章は陸上界の発展に顕著な功績があった人に贈られる栄章。今回は3人が受章し、岡山から選ばれるのは日本女子初の五輪メダリスト・人見網枝、前岡山陸協会長の佐々木勝美(山陽新聞社相談役に就任)と入目式で受章届を受け取った神達氏は陸上の岡山県チームから祝福の掛け声と大きな拍手を浴び、仲間にも恵まれたと心底感じている。個人の方ではなく、岡山の陸上界を代表していただいたという思いと話した。

神達氏は指導者として水島工高や光南高で国際・全国大会の優勝12度おかやまマラソンの創設などにも尽力した。(稲垣心也)



第44回 岡山東商高同窓ゴルフ大会

岡山東商高同窓ゴルフ大会が令和元年10月2日(水)に赤坂レイクサイドカントリークラブにて、台風15号の接近により中止になるかと心配しておりましたが無事開催することが出来ました。

今回も表彰式の開始を早める目的でショットガン方式にて行い125名出席者全員がホールアウトできました。

今回の最年長の方は6期、最年少の方は52期の方でした。

今後も同窓ゴルフ大会を継続、発展させる為に、若い方の多くの参加をお願い致します。

今回の成績は下記の通りです。

個人の部 (優勝) 43期 小銭 英泰
(2位) 42期 結城 直二
(3位) 19期 秋房 哲夫

女性の部 (優勝) 17期 小松原泰子
(2位) 13期 小山 米子
(3位) 16期 谷 澄枝
団体の部 (優勝) 20期 松田 泰正 他4名

来年45回大会も一人でも多くの参加をお待ちしております。45回大会の幹事は20期の皆さんにお願いすることになりました。来年の益々の盛り上がりを祈念し44回大会の報告とさせていただきます。

*今回の参加賞は母校の開発商品である「桃太郎とまどぼん酢」を購入して一部を東商デパートに寄付させていただきました。

平成31年度 近畿支部同窓会開催

近畿支部長 工藤 隆



今年度は、本部より石川会長、母校より岡田校長先生のご出席をいただき、『神仙閣大阪店』にて23名の参加で近畿支部同窓会を開催致しました。

選抜大会優勝の時に近畿支部を立ち上げて以来一度も欠かすことなく54回目という歴史を積み上げて参りました。昭和・平成・令和へと続く歴史ある近畿支部同窓会を継続していく為に努力して参りたいと思っております。今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。尚本年度も、令和最初の近畿支部同窓会を令和2年3月14日(土)に『神仙閣大阪店』にて開催予定です。多数の皆さんの参加をお待ちしております。

【連絡先】工藤 隆(東15期) (携帯) 090-1715-5492

野球部関東地区OB会開催

昨年11月17日(日)、横浜において東商野球部関東地区OB会を開催しました。以前は関東地区の野球部OB会を頻繁に開催していましたが、近年はほとんど開催していなかったため、ぜひ開催してほしいとの声が上がっていました。そこで、今回、連絡先の分かる方全員にご案内し開催の運びとなりました。参加者は16名、最年長は9期松永泰定さん、最年少は45期後藤晋作さんでした。年代は違っても、辛かった事や楽しかった事などの話題は同じで、時の過ぎるのも忘れて全員で大いに盛り上がりました。次回は6月か7月の開催を計画していますので、野球部OB会の方は奮ってご参加ください。お問い合わせ等は事務局山本へご連絡ください。



関東地区OB会事務局 山本龍治(東25期)

男子バレーボール部OB会 創部100周年へ向けて



昨年8月12日にピュアリティまきびにて、OB総会を開催しました。今回は、木谷俊和会長(東商12期)から田邊正己新会長(東商18期)へのバトンタッチの会でもあり盛大に行われました。

OB会の最大の目的は、現役選手たちの支援です。ユース日本代表の若林選手を擁し、岡山県高校選手権を5連覇。今年も春の高校バレー本大会に出場するなど、安藤監督のもとに、全国トップレベルの活躍を続けるバレー部を金銭的にも精神的にも支援するべく、日々活動をしています。もちろん430名あまりいるOB諸氏同士の親睦を深めるということも大きな目的です。

バレーボールという競技は、1913年アメリカより神戸高商(現神戸大)に伝わったスポーツです。男子バレー部は1923年(大正12年)の創部で、野球部とともに名門の部として全国に名をとどろかせていますが、1927年に大日本排球協会(現・日本バレーボール協会)の設立よりも古い、日本で有数のバレーボールチームです(もしかして日本最古の高校男子チームかもしれません)。2023年の創部100周年に向けて、OB会としても動き始めています。

男子バレーボール部OB会 常任幹事 我澤隆司(東29期)

卓球部OB・OG会



創部72年目を迎えましたが、昨年～今年にかけて「中国大会へ3回連続男女アベック出場」という県下でも前例のない快挙を成し遂げています!夏には創部以来、初の2回連続出場を果たしたうえに、(19/12月)の選抜には3回連続アベック出場という更なる快進撃を行っています。日本卓球「Tリーグ」の岡山リベッツの参入もあり真近で一流選手のプレーが見られるようになりましたが、我母校の卓球部も今や県下では上位入賞の常連校であり今後もこの地位を維持・発展させるべくOBOG会としても、様々なバックアップを行ってまいりますので皆さんの大いなるご声援を戴けますよう、宜しく願ひ致します。

卓球部OB・OG会 元宗三好(東25期)

同期会だより



第29期E組F組合同還暦同窓会(昭和53年卒業)

令和元年8月11日 メルパルクOKAYAMA (岡山市)

卒業してから6回目の同窓会です。はや還暦を迎えるようになりました。ビンゴゲームをしたり高校時代の思い出と近況を一人ひとり発表したりして、あっという間の4時間でした。いつまでも名残が尽きませんでした。5年後の再会を約し散会しました。

西村勝美 (東29期)



30期還暦同窓会

令和2年1月3日 於ピュアリティまきび

還暦を祝い18年ぶりに学年同窓会を開催。恩師を含め懐かしい顔が揃い、高校時代の思い出から今日までの話題に話は尽きません。難問、珍問の東商クイズで盛り上がり、最後は校歌と三本締めめでめでたく閉会となりました。

吉田和美 (東30期)



同窓会総会に参加して

卒業してから20年が経ちました。半年に一度程度のペースで自宅へ郵送される会報も、サラッとしか見ていなかった私が同窓会総会に初参加しました。

250名ほどの参加者で、新参者にはアウェー感たっぷりの会場(笑)。冒頭、校歌斉唱の掛け声に「歌えるかな」と言っていた方々も、前奏を聴けばそれとなく歌い出せるもので、高らかな声が会場に響き渡りました。アトラクションや120周年記念事業の様子を大きなスクリーンで投影、そして、美味しい料理に舌鼓

を打ちながらの諸先輩方との交流などで、あっという間の時間でした。

私の高校生活を回顧しても、正直、部活動(吹奏楽)のことしか出てきません。卒業後も部活動への支援や応援を続けていたこともあり、今年度より同窓会の常任幹事を拝命しました。今後も、母校の発展に微力ながらがんばっていこうと思っています。

盛 博貴 (東50期)



令和元年度 (同窓会) 役員名簿

令和元年11月現在

顧問	武田聖克 (東14期)				
参与	藤森 武 (東3期)	岸 加峯子 (東4期)	長原利枝 (東7期)	荘 直二郎 (東15期)	
会長	石川浩朗 (東17期)				
副会長	本徳誠人 (東14期)	木梨憲忠 (東17期)	中田真理子 (東19期)	服部和文 (東20期)	永岡美智子 (東22期)
	澤根育生 (東23期)	綾野富夫 (東30期)	古谷史栄 (東30期)		
事務局長	元宗三好 (東25期)				
常任幹事	河野通泰寿 (一商43期)	中尾昭義 (東2期)	伊藤 博 (東4期)	上西正二郎 (東6期)	眞田信典 (東6期)
"	高橋敏江 (東6期)	吉原万計 (東8期)	伊原正志 (東8期)	藤原和雄 (東10期)	三村義人 (東11期)
"	河原完治 (東12期)	岡本成機 (東13期)	山田 久 (東13期)	桑田邦彦 (東14期)	三田 清 (東15期)
"	坂井俊明 (東16期)	渡邊友子 (東16期)	吉田鎮雄 (東17期)	宮武高夫 (東17期)	福武文子 (東17期)
"	板野 一郎 (東18期)	長谷博明 (東18期)	箕輪利一 (東18期)	山田美代子 (東18期)	万代伸正 (東19期)
"	三垣正博 (東19期)	波野伸司 (東20期)	佐藤慎一 (東20期)	田中泰弘 (東21期)	奥江孝宏 (東22期)
"	横見瀬妙子 (東23期)	佐藤誠二 (東28期)	吉田和美 (東30期)	山本孝男 (東35期)	吉田 勝 (東35期)
"	鄭 健剛 (東36期)	砂田信義 (東36期)	平松基治 (東38期)	野口慎一郎 (東39期)	占部博久 (東42期)
"	神崎涼子 (東46期)	新谷訓久 (東49期)	高木麻帆 (東49期)	盛 博貴 (東50期)	吉次雄一郎 (東54期)
監査	平尾壽代 (東15期)	橋本清行 (東18期)			
会計幹事	坪田祐一 (東44期)				
近畿支部	工藤 隆 (東15期)	赤沢忠彦 (東14期)	齊藤竹治 (東15期)		
学校幹事	筒井雅幸 (東31期)	石田 慎 (東42期)	坪田祐一 (東44期)	河野正和 (東56期)	額田めぐみ (東56期)

編集後記

令和になって初めての会報となりました。母校の歴史を振り返ってみますと明治の開校に始まり大正・昭和・平成と激動の4世代を乗り越えて5代目となる(令和)の時代を迎えています。120周年を迎え、会報の表紙を飾ったのがつい昨日の事のように思いますが、とんとんと時が流れ世の中全体や私たちの身の周りも、学校を取り巻く環境なども激しく様々な変化を遂げています。しかし、時代がどう変化していこうと変わってはならないものとしては、やはり「誠実・質素・勤勉」の校訓であり、伝統ある校風を現在まで我々の心の何処かに持ち続けている誇りではないでしょうか?新元号も2年目を迎えています。新しい時代に向かって同窓会としても母校との連携を良く取り合いながら、また卒業期や年代を問わず同窓生間の絆も維持・発展をさせて行く為にも、しっかり足元を見つめて着実に、時代に則した進化をして行く事に挑戦して参りたいと思います。

事務局 元宗三好 (東25期)



岡山県立岡山東商業高等学校



さくらちゃん 東魂侍

岡山東商業のマスコットキャラクター
東魂侍とさくらちゃんです。
校章の意匠であるペンと桜をモチーフに、
さくらちゃんの手には翡翠、
東魂侍の瞳も翡翠色に輝いています。

第120回 同窓会総会開催の ご案内(予定)

和気あいあいと熱く思い出を語る同窓会です。
同級生をお誘い合わせのうえぜひ皆様ご参加ください。
日時：令和2年6月21日(日)
15時～16時 評議員会
16時30分～ 総会・懇親会
場所：岡山プラザホテル

